



よろしくね!

2009



屋久島環境文化村センター 館長
屋久島環境文化財団 理事
田川 日出夫 館長

新年、あけましておめでとうございます。島民の皆様には、かねてから、私ども財団及び両センターに多大の御支援・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。昨年十二月に世界自然遺産登録十五年の節目を迎えた屋久島では、入島者・入山者が増え続けている結果生じている様々な問題への対応が求められております。財団では、関係機関・団体と連携・協力を図りながらこれらの諸問題に取り組みでまいりますとともに、「共生と循環」の基本理念のもと、環境文化村構想のより一層の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、本年も御支援・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。新しい年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう、心から祈念いたします。

謹賀新年



屋久島世界自然遺産登録15周年記念シンポジウム開催

屋久島の進むべき道 ー世界自然遺産登録15年ー

「屋久島世界自然遺産登録15周年記念シンポジウム」が、12月20日安房総合センターで開催されました。基調講演では、小野寺浩鹿児島大学学長補佐が、「15年前と同様、世界は屋久島がリーダーであることを認め期待している。これからも、共生と循環を基本理念とする環境文化村構想を推進し、山岳部のトイレの問題等の積極的な解決に取り組んでもらいたい。」と訴えました。その後、九州森林管理局の濱田自然遺産調整官による屋久島の現状報告や、パネリスト6人により、「環境保全」、「観光推進」、「住民との共生」などの立場から、「屋久島の進むべき道」と題したパネルディスカッションが開催され、活発に意見が交わされました。

議論では、「生産活動と自然環境の保全と調和を図り、付加価値を高めることが必要」、「自然に対する畏敬の念がないと自然を壊してしまう」「世界遺産はもろ刃の剣。島全体を含めての管理計画が必要。」などの意見が出されたほか、山岳部のトイレ問題に関して、「登山客に不便のないように早急に整備してほしい」などの意見や、岩手県早池峰山での携帯トイレ実施例の紹介、屋久島での携帯トイレの試行状況の報告がありました。これを受けて、コメンテーターの九州地方環境事務所の浅野能昭所長は、「平成21年度以降携帯トイレの導入と、山岳部のトイレの整備を進めていきたい」と述べるなど、山岳部トイレの整備と、携帯トイレの導入・普及が提起されました。

最後に、日高十七郎屋久島町長が、「もう一度原点に立ち返って15年間の議論を検証し、共生と循環の基本理念のもと、やるべきことを実践に移して行きたい。」と総括し、シンポジウムを終了しました。



屋久島自然体験セミナー ～島の恵みを感じる～ やくしま物語



里の名産サバの収穫体験や、海の幸さばぶしの工場見学、一湊集落を散策し歴史にふれるなど、島の恵みを体験しましょう。
期 間：2月27日～3月1日(2泊3日)
対 象：一般(高校生以上)
活動内容：タンカンの収穫体験、さばぶし工場見学、一湊集落散策など
費 用：19,800円 ※屋久島への往復の交通費は含みません。
定 員：20名(先着順)
募集締切：2月13日(金)
※詳しくは研修センター(TEL: 46-2900)まで。

屋久島自然体験セミナー ～島の暮らし体験～ 春物語



農作物の収穫体験や魚釣り、地場産業の見学などをおして島に暮らす人々の生活を知り自然と人との共生文化や生活の知恵を学ぼう。
期 間：3月27日～29日(2泊3日)
対 象：小学5年生～中学3年生
活動内容：農業体験、魚釣り、地場産業見学、野外料理～テント泊
費 用：18,000円 ※屋久島への往復の交通費は含みません。
定 員：20名(先着順)
募集締切：3月12日(木)
※詳しくは研修センター(TEL: 46-2900)まで。

屋久島高校環境コース 課題研究の展示

屋久島高校環境コース2年生9名が参加した、夏と秋の2回の宿泊研修の様や、東京で開催された高校生環境サミット参加の様子をご紹介します。



展示期間：2月3日(火)～17日(火)
場 所：屋久島環境文化村センター 交流ホール